



道産ワインのイベント続け10年

あべ
阿部 さおりさん

醸造家らを招き、道民に道産ワインの魅力を伝える月例イベント「和飲な人時間」を2008年からクロスホテル札幌（札幌市中央区）で続け、10年目を迎えた。開催122回で延べ約5千人が参加。「家で道産ワインを飲むようになった」。そんな声を励みにしてきた。

「ワインは作り手の個性が反映される生き物のような飲み物」。生産者の思いを知ればひと味もふた味も変わる。毎回

6500～7千円で開くイベント企画会社インターリンクジヤパンを設立。著書「北海道のワインを旅する」を出版し、今秋から北墨学園大で講座を開くなど、活動の幅は広がる。

道内は温暖化で、仏ブルゴーニュ地方の気候に近づいた地域があるという。海外修業した醸造者が次々帰国し「世界と肩を並べるワインが生まれつつある」と力を込める。インターリンクは「つなぎ合わせる」の意。社名に込めた初志を忘れず「道産ワインと世界の消費者をつなぐのが夢」と目を輝かせる。48歳。札幌市在住。（酒井聰平）

トでは、醸造家の講話後にディナーへ移り、ワインと料理の相性の妙を楽しむ。次回は19日。

ひと

2017